

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価が前年から悪かったが、だんだん前年並みになってきた。客数は依然として増加しているが客単価についても回復している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・猛暑ということもあり、クーラーが効いているため朝からの客が結構多かった。今まで客数が単価とともに下がっていたが、今月は夏物の処分、特にギフトに関して来店客数が多いという傾向がみられた。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・夏物衣料の動きが好調であった。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・アイス、ソフトドリンク、ビール等の夏場商品の売行きが良くて売上増に結び付いた。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・夏物商品が好調である。特に雑貨物でセーター、ブラウス、帽子、パラソル等小物類の売上が前年比10%以上伸びている。
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・リフォームに関連する売上が増えてきた。
		家電量販店（総 務担当）	単価の動き	・大型の薄型テレビや乾燥洗濯機等の高額商品の動きが良い。
		家電量販店（企 画担当）	販売量の動き	・季節的な影響でエアコンが売れるとかオリンピックでテレビが売れるとかはあるが、反面パソコンなど売れなくなっている商品もある。全体的には良くなってきている。
		高級レストラン （専務）	来客数の動き	・九州新幹線開業効果が継続している。夏休みに入り家族連れや旅行者が多く、客数、売上も増加している。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・お盆等の家族行事があったということもあるが、予約の状況、販売量の動き、客数も増えてきている。
		都市型ホテル （副支配人）	単価の動き	・客の宿泊料金に対する希望の幅が少しずつ広がっている。
		設計事務所（所 長）	販売量の動き	・官公庁の設計委託の工事が、少しずつであるが出ている。
変わらない		商店街（組合職 員）	それ以外	・9日間の抽選券付きセールとイベントを行った。猛暑のため来街者は今一つだったが抽選券の発券数は予定以上に消化。売上増で効果は出た。しかし商店街の厳しさは変わらない。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	お客様の様子	・盆だからといって特に買いだめするような様子もなく落ち着いた状況である。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・福岡市天神地区の百貨店売上は、7月は猛暑による夏物商戦の好調やセールの効果もあり若干上向いたが、8月はオリンピックや台風の影響もあり苦戦。前年割れを見込んでいる。
		百貨店（営業企 画担当）	販売量の動き	・中元ギフトは、一品単価の減少はないが、受注個数の減少傾向がみられる。法人については、下げ止まった感はあるものの、一般のギフトは伸び悩んでいる。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・猛暑で特に衣料品が苦戦をしている。客は余分なものに消費をしない。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・今年の4月以降、客数、一点単価は昨年を維持しているが、1人当たり買上点数は前年比10%減が続いている。
		スーパー（総務 担当）	単価の動き	・平均客単価が若干下がり気味である。特に夏物衣料あたりは、前半戦は良かったが後半戦は伸び悩んだ。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・猛暑だからといって、買上点数が向上しているわけではなく、例年通りである。
		コンビニ（販売 促進担当）	販売量の動き	・売上は前年の98%前後で推移しているが、今月は台風の影響によって離島関係の販売が1週間停止した。おまけに停電等もあり、パンや弁当等、製造できなかった分の販売量の減少や、小売店の休業による返品もあり、今月に関しては前年の2.5%減という結果に終わった。

衣料品専門店 (店員)	お客様の様子	・暑い日が続いているので、夏物バーゲンをお盆過ぎまで開催し、同時に秋物の新作を立ち上げた。いつもはお盆を過ぎると秋物に順調に移行するが、今年はいつまでも夏物しか売れなかった。かなり安くなったセール品を吟味して1点買いする客も多くみられた。	
家電量販店(店員)	販売量の動き	・7月末から液晶テレビ、DVDレコーダー等で動きが出ている。オリンピック後もデジタル化への動きがあるため、需要が期待できる。ただエアコン等が減少し、総体的には変わらない。	
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・オリンピックのある月はいつも悪い。高額テレビ等に客の嗜好が流れるため、車にまでは回ってこないからである。	
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・前年並みの販売量を何とか確保するのが今の状況で、販売量が大幅に増えるということはない。	
住関連専門店 (経営者)	単価の動き	・来客数は相変わらず少ないが、秋の婚礼家具の動きが出始めた。	
その他小売[雑貨卸](総務担当)	販売量の動き	・売れてはいるが単価は落ちているため、販売量はなかなか実績が上がらない。	
一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・今月は前年より30万円多く売り上げることができたが、これは営業時間の延長等の影響である。景気の動きとしては変化がない。	
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・景気の動向はあまり良くない。海外旅行は前年に比べ伸びているが、国内は低迷している。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・顧客の商品選別の厳しさに変化はなく、なんでも売れるということは依然としてない。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・サマーステイプランで宿泊、施設の集客ともに前年並みに推移している。一方、ゴルフ場は減少している。	
競輪場(職員)	来客数の動き	・入場者及び発売額が横ばい状態を続けている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅ローン減税を考慮する客の動きが落ち着きつつある。	
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・猛暑のため来場者数が少なかった。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・暑い日が続いており、人通りが閑散としている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街では空調設備がなく暑いため、客は来ない。飲食関係の店が潤わず、食材もあまり売れない。
	一般小売店[茶](店長)	来客数の動き	・来客数、購買量、販売量が激減している。良くなる傾向はない。
	百貨店(総務担当)	お客様の様子	・ディナーの時間帯にレストラン街への集客が悪い。特に夜9時以降の客数が低落傾向にある。単価も上がらない状況が続いている。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・街場への動員が春から更に落ち込んでいる。特に土日の来客減少が顕著である。
	百貨店(営業担当)	単価の動き	・中元ギフトは、1人当たりの買上単価及び受注件数がともに前年割れであり、儀礼的なギフトへの支出に減少傾向がみられる。薄型テレビなど高額商品が動いているが、オリンピックによる一時的特需であり、継続性はない。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・お盆以降は、例年は夏物セールがまだ売れるが、今年に必要なもの以外はいくら安くても買わないという傾向で、総体では非常に苦戦している。
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・猛暑のため、来客数が圧倒的に減っている。それ以上に気にかかるのが、天候に関係なく、昼・夜ともに天神地区全体の来客数が減っていることである。郊外大型店が集客していることに加え、街としての魅力に欠けていることが原因である。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・商圈全体の売上が落ち込んでいる。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・購買に慎重という姿勢から、購買欲そのものの減退がみられる。猛暑のため外出を控えているという現象もあり、入店客減もかなり目立っている。

		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・上旬は動きが良くなかった。中旬、下旬についても秋物関係はまだ気温が高いので婦人衣料を中心とした衣料品全般の動きが良くない。今月は大型店の市況をみてもあまり良くないという状況である。特に月末に台風がきたので実態としては前年比で10%程のマイナスになる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・前月からの猛暑により清涼飲料やアイスクリームは非常に動きが良かったものの、アテネ五輪景気による薄型テレビや猛暑によるエアコン等の高額品の好調、家庭での料理敬遠から外食化傾向が目立ったことで食品中心のスーパーとしては客数減が目立った。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・猛暑やオリンピックのにぎわい等で新車の販売台数がやや鈍っている。客の来場も含めて売上高が伸び悩んでいる。
		その他専門店【書籍】（店長）	販売量の動き	・オリンピックの影響か、来店客数も減っている。
		その他専門店【医薬品】（従業員）	来客数の動き	・先月までは客数は前年に比べ回復しつつあったが、暑さのせいやや減少傾向である。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・海外旅行が復活し、国内旅行からシフトしている。しかし韓国ブーム等で単価の安い商品が売れており、売上につながらない。
		旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・猛暑とオリンピックの影響を受けているのか、申込の量が前年を下回っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月に入りまずまずであったが、オリンピックの影響で人の動きが悪くなり、タクシーの利用が一転して悪くなった。
		タクシー運転手	来客数の動き	・オリンピックや猛暑のせい、皆外に出ない。出ても特定のところだけに行くという傾向にある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月はオリンピックの影響でかなり悪くなった。歓楽街の客が少ない影響で、タクシーも客が非常に少なく、商売になるような状況ではなかった。
		タクシー運転手	来客数の動き	・天気の関係か8月の半ば過ぎから極端に客の乗車率が悪くなり、特に夜の客が少なくなった。
		通信会社（業務担当）	販売量の動き	・8月は例年であれば平日に比べて週末の販売台数が大きく伸びるが、週末イベント企画にもかかわらず販売数が伸びていない。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・残暑が厳しいせい客の動きが悪い。
		美容室（店長）	お客様の様子	・異常な暑さで外出を控えていたという方が多く、去年より更に客数が少ない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・住宅販売で販売センターの来客数が猛暑のために激減した。また、再来の客が少ない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・来街者も最低であり、人の動きも最低である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・8月は例年客数も売上も落ちるが、今年は特に来客数が少ない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・相変わらず売上は前年比20%減が続いている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・俗に水商売では2月、8月が最も落ち込むといわれる。当店は海岸沿いにあるため8月はあまり悪くなかったが、今年はかなり落ち込んでいる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・盆休み、オリンピックの影響で人の動きが少なく、来客数が極端に落ち込んだ。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響で焼き鳥屋関係が伸びている。加えて加工メーカー筋も輸入物の原料ストップで国産物に引き合いが強くなり、総じて好調である。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・物件の情報件数は前年の1.5倍程度あるが、見積金額としては昨年とほぼ同じである。大型の商業施設が一段落し小口の物件が増加している。
		鉄鋼業（経営者）	取引先の様子	・まだ資材発注には至っていないが、秋口にかけて大型の商業施設、IT関連の施設、マンション、病院、新幹線などの物件が動き出すことから、民間建設需要の増加傾向が顕著となっている。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体の部分がもう落ち込むのではないかと考えているが、何とか続いている。今月は夏の休暇で休みも多かったが頑張っている。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・企業の生存競争の厳しさからか、遊技場の設備投資が非常に活発である。	
変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格が低いままの形で仕事量が増えている。採算がとれない仕事も多く、体質改善を行うことが急務である。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・消費市場は飽和状態であり、新規商品投入やモデルチェンジが消費拡大につながっていない。営業部門も以前に比べて会議を増やしているが、売上には結び付いていない。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・特に清涼飲料水の売上が前年に比べ極端に良くなっている。これにより多少の利益確保ができた店が多い。	
やや悪くなっている	食料品製造業（専務）	受注量や販売量の動き	・暑い日が続く、甘いものが敬遠されている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の全体的な動きが、ここに来てやや鈍くなってきている。特にDVD関連等がだぶついてきた。	
	精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・急激な鋼材の値上がりに対して価格を上げることができない。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・7月末から急速に荷動きが悪くなってきた。猛暑のせい7月が過剰な出荷となり、通常では盆休み前1週間は繁忙期のはずが、閑散としていた。秋物の出荷も遅れており心配している。	
悪くなっている	繊維工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・追加生産を待っていたが、追加はほとんどなかった。電気製品は非常に好調ということであるが、衣料関係、特に紳士服は全く不振であった。	
	建設業（従業員）	それ以外	・公共工事の減少に加え、一般競争入札による参加する会社が増加したため、受注価格が低下した。	
雇用関連	良くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数は業務請負業を中心に新規求人、有効求人ともに増加傾向にある。一方で、求職者数が減少する中で、紹介件数も減ってきている。しかし、このような中であっても就職件数や就職率は前年を上回っている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣オーダーの最近のキャンセル分は、他社契約でなく自社採用が多い。欠員補充についても社員への引継ぎが予定される等、社員採用の兆しが始まっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・当社の取扱求人数は前年比110%で推移している。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・求人情報企業の掲載数が引き続き上向きである。小社発行の求人フリーペーパーの掲載企業とともに、インターネットでの申込による中途採用も伸びている。新卒採用についても企業の意欲は高まっており、新卒系採用サイトへの参加も順調な伸びがみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数及び求人件数ともに前年及び前月に比べ増加している。業種別では、製造業の求人の増加が目立っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の増加を受け、新規求人倍率は3か月連続で前年を上回っている。また、来春卒業予定の高卒求人は、求人件数、求職件数とも前年比1割を超える増加となっている。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数の増加が続いており、供給が追いつかない。成約率は落ちるものの、売上高、成約数では前年比2けたの伸びである。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人に占める請負、派遣の割合が40%を超えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が伸びていない。また新規求職者も減少傾向にあるものの、その減少はわずかであって有効求職者数自体がなかなか減らない。
	やや悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・常用採用が非常に少なくなっている。
悪くなっている	-	-	-	